

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 交換留学期間終了後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	ウプサラ大学 (国名: スウェーデン)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Earth science	
留学期間	2016 年 8 月 ~ 2017 年 1 月	
学部/学府・年次	農 学部/学府	3 年次~ 3 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	半年間の留学にするか一年間にするかとても迷ったが、一年間にするると3年前期で必修科目の単位を落としてしまうと卒業が遅れてしまうため、半年間にした。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) ②. 大学院進学(東京大学 新領域創成科学研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	今の段階ではわかりません。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	今の段階ではわかりません。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	豊富な種類がある授業の中から、好きな授業を選ぶことができる。全て、英語で行われるため言語については心配する必要はない。合計 30credits を1 Semesterでとらなければならないため、多くの学生が2~4クラスを受講することになる。授業によっては週1だったり、週3で一カ月で終わったりと日本のように同時に何科目も受けなければならないわけではない。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>ウプサラ大学には英語でのエッセイの書き方を教えてくれる機関があるが、一度も利用することはなかった。スウェーデンは冬が長く日も短いため、精神面でのサポートをしてくれる人が多くおり、学生が引きこもってしまうの防ぐための対策が施されているようだった。住居や生活面に対する大学からの具体的なサポートはなかった。住居は Housing office の管理下であり、何か問題があればそこに連絡をするという方法だった。サポート制度があったが、パートナーによってどれほどサポートしてもらえるかが、全く異なり私のパートナーには1回しか会わず会話もほとんどしたことがないが、他の留学生の中には良いパートナーに恵まれ、いろいろとサポートしてもらっている人もいた。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>思ったよりは、授業の質は高くなかった。ほとんどの授業がそれほど必死になって勉強しなくても単位を取得することができる。様々な分野の授業を受講することができたのは非常に面白かった。日本の大学のように授業がみっちりあるわけではないため、比較的ゆったりと過ごすことができる。8月頃にあった、大学主催の field trip のようなものは周辺地域を回る非常に良い機会であり、参加する価値があると思う。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>ウプサラ大学はヨーロッパの中でも有数のトップ校であるが、授業の質にそれほど期待してはいけない。日本と比べると、ディスカッションなど実践的な活動が多く質が高いものが多いが、中には日本と同じようにただ先生の話をお聴きするという授業もある。スウェーデン語の授業はとることを是非ともお勧めする。Global Challenges & Sustainable Future という授業は学生主体の授業でとても面白い。Practical English という授業は内容は日本の中学か高校英語レベルのことが扱われるが、プレゼンの練習などをしてみたい人には良いかもしれない。それほど大変な授業ではない。International Environment and Sustainable Development という授業は1ヶ月ほどで集中的にあり、セミナーも週1回あったため、大変だった。内容はあまり知らないことばかりであったため、理解が難しかった。</p>
-------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>スウェーデン移民局</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>必要書類: 銀行の残高証明、海外保険、受け入れ許可証、パスポートのコピー</p> <p>手続き: 全てオンライン上に入力して行って行われる。 不備があると、ビザが取得できるのに時間がかかる。しかし、日本人はシェンゲン協定によって、ビザが無くても3か月間は滞在できる。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>約2ヶ月</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>なし</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	授業は週に3回ほどしかなく、午前中だけで終わる日も多かったのでたいていの日を家でのんびりと過ごしていた。夏は週末にベリーを採りに行ったり、バーベキューをしたりと友達と過ごした。また、nation に関わるとスウェーデンの学生生活をもっと奥深く経験することができる。10月になると冬になり、雪がちらほらと降り始める。雪になると外での活動ができなくなるため、多くがお菓子を作ったり友達とビデオ鑑賞をしたりと部屋の中で過ごすことになる。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 150000 円/月 (生活費内訳)住居費: 42000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 30000 円、電話代: 1000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 0 円 その他:(具体的に) 旅行代:50000 円 交通費:3000 円 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC, 変換プラグ、トイレの便座シート、薬 Wifi ルーターは現地で買えばよい
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	ウプサラの町は小さいから、治安面に関して特段気にする必要はない。ただ、自転車のライトは一度盗られた。多くのスーパーの出入り口にホームレスの人がおり、中にはしつこくお金をねだってくる人もいる。 自転車の購入は必須である。自転車があればたいていの場所に行けるが、徒歩では厳しい。バスは多くのゾーンが一回 27SEK で乗れる。日本では使わないものは、Second hands shop か Facebook ページの buy&sell で購入することをお勧めする。思った以上にスウェーデン語ばかりであり、スーパーで売っている物のほとんどすべてがスウェーデン語のみの表記である。メジャーなスーパーに Ica と Willys があるが、基本的に Willys の方が安い。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	スウェーデンはカード社会であるため、現金は 3000 円程しか持ち歩いていなかった。10円ぐらいのものを買う時にも、カードを使う。現金を引き出すときには、現地の ATM で新生銀行の口座から引き出していた。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Kantorsgatan 22 Uppsala Sweden	
費用(月額)	42000 円程	
どのようにして見つけたか	大学が提供する寮の中の一つだった。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	キッチン、シャワーは共同でトイレと洗面台だけが各自の部屋に付いている。Kantorsgatan は共同部分をシェアする人数が5人であるため、1つのユニットが小さい。また、一般の人も住む所であり、Flogsta と比べるとうるさくなく静かに生活することができる。町の中心部へも自転車で 15 分ぐらいで着く。徒歩で学校まで行くには厳しいが、まわりにスーパーもあり、バス停も近くにある便利な場所であるため推薦できる。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	Flogsta に住んでいる学生が一番多いが、Flogsta は坂の上にあるため、町の中心部に行くためには毎回坂を上り下りしなければならない。また、夜中の 2 時ぐらいまでどんちゃん騒ぎをしている人もいるそうだ。パーティーが好き人やいろんな人と仲良くしたい人にはおすすめである。大学が最初にくれる Start pack のようなものの中に Teria のSIMカードが入っているため、多くの学生が Teria で携帯電話は契約する。支払いはプリペイド式で、月に 1000 円ほどしかかからない。前の留学生たちが出ていく時に、多くのものが buy&sell で売られるため、そこを有効活用することを強くお勧めする。ウプサラから空港まではバスで 45 分で 81SEK で行ける。ストックホルムまでは電車で 30 分ほどで、片道 82SEK。UL というアプリが大変便利で、クレジットカード番号を登録しておけば、簡単に切符を買うことができる。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項

英語を上達させたい人にとってはスウェーデンはあまり、適切ではないかもしれない。予想以上にスウェーデン語ばかりで目に入るものはほとんど全てスウェーデン語である。しかし、ほとんどの人は英語を話すことができるため、日常生活に支障はない。

11月ぐらいに多くの雪が降るが、一度溶けて12月以降は積もって溶けての繰り返しである。雪が積もると滑りやすいため、自転車の運転は控えた方が良くもしいないが、ほとんどの人が雪が積もっていても自転車に乗る。現に私も、スノータイヤではなく普通のタイヤで凍った路面を自転車で走っていたが一度も転倒したことはない。しかし、運転するには非常に神経を使わなければならない。